

### 3 「つながる子どもの育ち」の展開

ここにあげた「つながる子どもの育ち」の展開は、一つの例として紹介したものです。この展開を参考にして、それぞれの地域の幼稚園・保育所・小学校での連続・一貫した指導が推進されることを期待します。

#### 見方

- 1 「育てたい力」を偶数ページの左枠に縦書きで示しています。
- 2 「育てたい力」について、3歳（年少）から6歳（小1）までの発達段階に沿った「育ちの姿」を、偶数と奇数の左右のページにわたり、下のような枠内に示しています。



- 3 **活** では発達段階に応じて「育てたい力」を育む場面と想定できる遊び・活動・生活を示し、写真やエピソードでその具体を示しています。吹き出しを多く使っていますが、下のような使い分けをしています。



- 4 **支** では、「育てたい力」を育む場面や個々の幼児・児童の実態に応じて、必要な教師や保育士の支援・援助やかかわり方を示しています。



## 自分でできることは、自分でしようとする子ども（1）

	3歳（年少）	4歳（年中）
自分で考え、自分で行動する。	<p>自分の好きな遊びを見つけて遊ぶ。</p> <p><b>活</b>・ 砂場等で、自分のしたい遊びをする。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;">                     砂場で、S児は、容器に砂を入れたり出したりしている。そばでは、A児もS児と同じように砂を入れたり出したりしている。                 </div> 	<p>友達とかかわり合いながら遊びを楽しむ。</p> <p><b>活</b>・ 好きな遊びを通して友達とのかかわりを楽しむ。 ・ ごっこ遊びをする。</p> <div style="border: 1px solid black; border-radius: 50%; padding: 10px; display: inline-block; margin: 5px 0;">                     クリームができたね。色水でしたら青色のクリームが出来たよ。                 </div> 
	<p><b>支</b>・ 教師も一緒に遊んだり、そばで見守ったりしながら、安心して遊べるようにする。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 遊びに誘っても入ろうとしない幼児には、無理をせず、一人ひとりの思いを大事にしたり、子どものペースに合わせたりするようにする。</li> <li>・ いろいろな遊びに興味をもてるように、製作材料や楽器、描画できる材料等を身近に置いておく。</li> </ul>	<p><b>支</b>・ 子どもの興味・関心に応じて、遊びの時間を保証する。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 思いや願いがかなうように環境を用意したり、声かけをしたりする。</li> <li>・ 必要なときには教師もかかわりながら、友達とのかかわりにつながるように、声をかけたり一緒に活動できる場を整えたりする。</li> </ul>

	3歳（年少）	4歳（年中）
健康な生活のリズムを身に付け、見通しをもって行動する。	<p>食事・遊び・睡眠など生活のリズムを知る。</p> <p><b>活</b>・ 楽しく生活する。</p> <div style="display: flex; flex-wrap: wrap;"> <div style="margin: 5px;">①登園</div> <div style="margin: 5px;">②シール貼り</div> <div style="margin: 5px;">③靴の整頓</div> <div style="margin: 5px;">④遊び</div> <div style="margin: 5px;">⑤手洗い</div> <div style="margin: 5px;">⑥お弁当</div> </div>  <p><b>支</b>・ 先生はスキンシップを大切にして、笑顔で子どもを迎える。子どもの様子を知るために、必要に応じて保護者と話す機会をもつ。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 登園したら行う「シール貼り」や「靴の整頓」は、やり方を丁寧に示し、できたところを認めながら取り組ませる。</li> <li>・ 午睡に合う落ち着いた環境を準備する。</li> </ul> <p><b>支</b>・ 家庭でも規則正しい生活が大切であることを保護者に伝える。</p>	<p>食事・遊びなどの生活のリズムに慣れ、自分がしたいことを見つけて取り組む。</p> <p><b>支</b>・ 幼児のもつ生活のリズムに沿いながら、活動と休息等の調和を図るようにする。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 遊びが十分に満足できるようにする。</li> <li>・ 一人ひとりの育ちの状態に合わせて指導する。</li> <li>・ 子どものよさを認め、長い目で見守る。</li> </ul>

## 5歳(年長)

自分なりに考え、友達と役割を分担し、協力しながら遊んだり生活したりする。

**活**・ お店屋さんごっこ、ボール遊びをする。

S児は、紙コップに色ちり紙を入れてジュースを作る。それを見て、「私も作りたい」とA児が言う。S児は、「いいよ。ねえ、ジュースをいっぱい作ってお店屋さんにならない?」と言う。A児「お店屋さん、いいね。アイスクリームも作ってアイスクリーム屋さんも作ろうか。」と言って、S児とA児は、お店屋さんの準備を始める。



**支**・ 自分の思いを言ったり友達の思いを聞き入れたりしながら、遊びが展開できるようにする。  
・ イメージや目的を共有し、実現できるように工夫したり、協力したりする楽しさが味わえるようにする。  
・ 共通の目的に向かって友達と遊ぶ中で、問題が生じた場合は、互いに話し合いながら、遊びが楽しく展開できるようにする。

## 6歳(小1)

自分なりに考えて行動し、進んで学習や活動に取り組む。

**活**・ 新しい生活に慣れ、施設の使い方や学校のきまりが分かり、学校生活を送る。  
・ 新しい友達に自分から進んでかかわる。

**支**・ 学校生活に慣れるよう、友達や上級生、いろいろな先生とかかわる場を設定し、楽しさが味わえるようにする。



完成したら、校長先生に見せようよ。



水道で水を汲んできたよ。一緒に使おう。

**支**・ 友達と協力したり、自分で考えて進んで行動したりする姿をしっかりと認める。

## 5歳(年長)

集団生活のリズムが分かり、見通しをもって遊びや生活に取り組む。

**活**・ 生活のリズムを考えながら、進んで当番活動をする。

ねえ、先生! 今日、ぼくはYちゃんと一緒にウサギとニトリの当番なんだよ。お弁当の時間が終わったら、ウサギさんににんじんをあげるんだ。ぼくたちと同じようにおなかのすいているからねえ。お弁当の後片付けを急がなくなっちゃ!

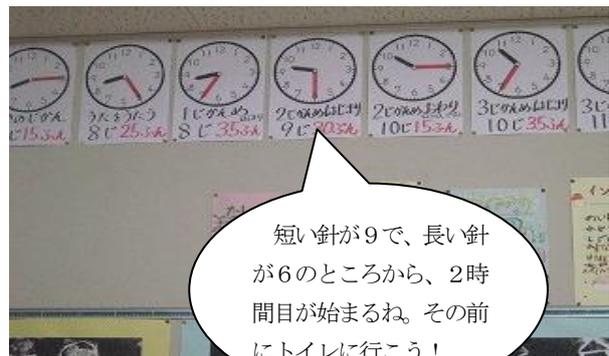
ねえ、お母さん。今日はひよこ組(年少児)のお手伝い当番の日だったよ。次に何をすればいいかよく考えて、いろいろなお世話をしたよ。難しかったけど、楽しかったなあ。

**支**・ 年長児として責任のある仕事に取り組ませる中で、いつ、どのようにすべきかを考えながら、生活ができるようにする。

## 6歳(小1)

小学校での生活の流れが分かり、時間に合わせて行動したり、見通しをもって学校生活を送ったりする。

**活**・ 次の学習や活動内容を意識しながら行動する。



短い針が9で、長い針が6のところから、2時間目が始まるね。その前にトイレに行こう!

**支**・ チャイムの合図や校内放送に合わせて行動することを学級活動等の時間に指導する。  
・ 日課表や生活の流れが分かるものを掲示し、児童が主体的に活動できるように工夫する。  
・ 活動に必要なものや心の準備の大切さに気付かせる。  
・ 学習内容や活動内容により、単位時間の弾力化を図る。

## 自分でできることは、自分でしようとする子ども（2）

	3歳（年少）	4歳（年中）
体を十分に動かして遊ぶ。	<p>いろいろな遊びの中で体を動かすことを楽しむ。</p>	<p>十分に体を動かし、様々な遊具や用具を使った運動や遊びを楽しむ。</p>
	<p><b>支</b>・ 先生とのスキンシップを十分にとり、子どもの心の安定を図り、先生と一緒に安心して遊べるようにする。</p>	<p><b>活</b>・ すべり台、ジャングルジム、アスレチック等固定遊具に親しむ。</p>
		<p><b>アスレチックのつり橋が怖いAちゃん</b> A児は、アスレチックでの遊びに誘ってもしようとしなかったが、友達の「頑張って」の言葉に励まされ、先生と一緒に渡る。 その後、日一日と自信をつけ、自分から「先生、アスレチックをしよう」と先生を誘うようになった。</p>
	<p><b>活</b>・ 歌遊び、ダンス等、音楽（CD、ピアノ）に合わせて体を動かす。室内外でゲームを楽しむ。</p>	
	<p>ゲーム：いすとりゲーム、じゃんけん列車、フルーツバスケット、ハンカチ落とし、陣取りじゃんけん、影踏み、各種おにごっこ等 歌遊び：できるかな、アブラハム、伝承遊び（なべなべ、とおりゃんせ、あわぶくたつた 等）</p>	<p><b>支</b>・ 先生も一緒に楽しみながら遊び、体を動かす楽しさを実感させる。</p>
	<p><b>支</b>・ 年中や年長の子どもの遊びを見るなどして、模倣して遊べるよう配慮をする。</p>	

	3歳（年少）	4歳（年中）
あいさつや返事ができる。	<p>先生の声かけを聞いてあいさつや返事をする。</p>	<p>日常生活に必要なあいさつをしたり、元気よく返事をしたり、みんなの前で自分の名前を言ったりする。</p>
	<p><b>活</b>・ 指人形等で言葉遊びをする。 （紙芝居、ペープサート、パネルシアター）</p>	<p><b>活</b>・ ままごと、おうちごっこ、お店屋さんごっこ等のごっこ遊びの中であいさつをする。 ・ 身体測定や健康診断のときに、自分の名前を言う。</p>
	<p>おはようございます。</p> <p>〇ちゃん、おはようございます。</p> <p>うさちゃん、こんにちは。</p>  	<p>K児が持ってきたぬいぐるみにひもをつけ、「さあコロ、おうちに帰るよ。」と言いながらごっこ遊びを始めた。そして、ままごとコーナーに行き、「お母さんただいま。」と言うと、M児は「Kちゃん、遅かったね。おやつ食べて。」K児「お母さんありがとう。」と遊びながらあいさつの言葉を学んでいた。</p>
	<p><b>支</b>・ 登園してきた子どもに「おはよう」と声をかけながら出迎える。 ・ 指人形等であいさつの大切さを知らせる。 ・ 家庭での取組をお願いする。</p>	<p>ぼくの名前は〇〇です。よろしくをお願いします。</p> 
		<p><b>支</b>・ 幼稚園の生活に沿いながらその意味や使い方を知らせたり、友達との遊びの中で必要な言葉を使うようにしたりする。 ・ 出席ノートや手紙の配付時に名前を言いながら渡したり、受け取らせたりする。</p>

## 5歳(年長)

友達と一緒に体を十分に動かしながら、様々な活動に親しみ、楽しんで取り組む。

**活**・ リレー、ドッジボール、サッカーなど遊びの中で、体を動かす。

### リレーごっこ

運動会が終わり、子ども同士でリレーごっこを楽しむ姿が見られた。

S児「途中であの木のところにぶらさがってからまた  
走ることにしよう。」  
M児「うん、それからその  
次にちょっと跳ぶよ  
うにしよう。」



園庭の木々を利用した障害物リレーをする。  
友達とルールを決めたり、工夫したりして遊ぶ姿が見られた。

**支**・ 先生も仲間の一員として参加し、楽しさを共感する。  
・ ルールについては、個々の発達段階に応じて、子どもたちが考えるようにする。

## 6歳(小1)

簡単なきまりや活動を工夫して、様々な運動遊び・ボールゲーム・水遊び・表現リズム遊びなどに楽しんで取り組む。

**活**・ 休み時間に、友達と仲よくボールや遊具を使ったり、鬼遊びをしたりして元気いっぱい外遊びをする。  
**活**・ 体育の時間に、各種の運動遊びに進んで参加し楽しむ。



みんなでプールに入ると楽しいね。

水にもぐったり、浮いたりすると気持ちいいね。

**支**・ 多様な動きをつくる運動遊びを取り入れる。



**支**・ きまりを守ると友達と仲よく遊ぶことや体を動かして遊ぶと楽しいことに気付かせる。  
・ 体育の時間に運動の楽しさに十分ふれられるように、活動や指導を工夫する。

## 5歳(年長)

誰に対しても気持ちのよいあいさつや返事を進んでし、みんなの前で自分の思ったことを話す。

**活**・ 生活発表、劇遊び、誕生会、お店屋さんごっこ等をする。

はい!はい!  
わたしの話を聞いて。

今から、誕生会を始めます!



ダンスを発表します!



**支**・ みんなの前で話をする時は、どんなことに気を付けたらよいか、考える場を設ける。  
・ 誕生会などの行事の中で、お祝いの言葉や感謝の言葉をみんなに分かるように伝える場を設ける。

## 6歳(小1)

あいさつの大切さや時と場に応じた言葉づかい・動作が分かり、いろいろな人と接する。

**活**・ 「地域のお年寄りお招き会」をする。  
・ 学級活動・朝の会・授業の中で返事や発表をする。

《お招き会の様子》  
地域のお年寄りをお招きして、  
伝統的な遊びや文化(しめ縄等)  
を教えてもらった。一緒に作りながら、  
W児「おじいさんの縄の続きをや  
ろうとしても、できません。  
教えてください。」  
Mさん「私は、右縄。君は左利き  
だから反対にするといいよ。」  
W児「おじいさん、よく分かりま  
したね。すごいなあ。」  
自然に相手を尊敬する態度や  
言葉がみられた。



**支**・ 具体的な場面を設定して、授業中と休み時間で使う言葉が違うことに気付かせる。  
・ 道徳や学級活動の時間を活用して、相手の気持ちを考えた言葉遣いや接し方について考えさせる。

## 自分でできることは、自分でしようとする子ども（3）

	3歳（年少）	4歳（年中）
<b>食事のマナーを身に付け、食べることを楽しむ。</b>	<p style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center;">先生や友達と一緒に食べることを楽しむ。</p> <p><b>活</b>・ 手を洗って楽しく食べる。</p> <div style="display: flex; align-items: flex-start;">  <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p style="text-align: center; margin: 0;"><b>昼食時の指導</b></p> <ol style="list-style-type: none"> <li>① トイレに行く。</li> <li>② 手洗いをする。</li> <li>③ 食事の準備をする。</li> <li>④ 楽しく食べる。                             <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 席を離れない。</li> <li>・ 箸を上手に使う。</li> <li>・ おかずやご飯を交互に食べる。</li> </ul> </li> <li>⑤ 片付けをする。</li> </ol> </div> </div> <p><b>支</b>・ 楽しく清潔な環境を整える。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 入園したころは、お弁当を食べられるだけの量にする。</li> <li>・ 室内環境を工夫して、みんなで楽しく食べられるようにする。</li> <li>・ 食事前に排泄を済ませるようにする。</li> <li>・ 箸の持ち方に気を付け、お皿を持って食べるように声をかける。</li> </ul>	<p style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center;">食事のマナーを知り、みんなと一緒に食べることを楽しむ。</p> <p><b>活</b>・ みんなで楽しく食べ、後片付けをする。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>お弁当の日は、みんな大喜び。楽しく食べた後で、「ナフキンをたたもうね!」と声をかける。しかし、S児は、なかなかたたむことができない。そこで、「四角いナフキンを半分に折ってさ・・・」と歌遊びを取り入れた。すると、S児は歌を口ずさみながらナフキンをきれいにたたむことができた。</p>  </div> <p><b>支</b>・ 食事のマナーや後片付けの大切さを知らせるためにごっこ遊びや歌遊びを活用する。子どもの様子をよく把握して個別に指導する。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 保護者から家庭での食事の様子を聞いたり、園での様子を話したりしながら、食事のマナーに気を付けて、みんなと一緒に食べる喜びを味わえるようにする。</li> </ul>

	3歳（年少）	4歳（年中）
<b>排泄の習慣を身に付ける。</b>	<p style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center;">トイレの使い方を知り、自分で排泄する。</p> <p><b>活</b>・ 促されて、トイレに行く。</p> <div style="display: flex; align-items: flex-start;">  <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p><b>支</b>・ 嫌がらずにトイレに行き、一人で使うことができるように(1)開放的で明るい雰囲気、(2)動物などの親しみのもてる掲示、(3)使いやすいトイレットペーパーの位置などを工夫する。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 和式、洋式トイレの使い方を実際にやって見せ、トイレ自体に慣れさせる。</li> <li>・ 時間を決めて声をかけたり、先生と一緒にいったりする。</li> <li>・ パンツの着脱の方法やズボンやパンツを脱がない排泄の仕方を指導し、家庭にも協力をお願いする。</li> </ul> </div> </div>	<p style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center;">トイレの使い方が上手になり、排泄する習慣を身に付ける。</p> <div style="display: flex; align-items: flex-start;">  <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p><b>活</b>・ トイレを汚さないように(周りにこぼしたりしないように)気を付けて、排泄する。</p> <p><b>支</b>・ 和式の場合、排便時の位置など個別に指導する。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ トイレで上手にお尻を拭くことができるように、トイレットペーパーの取り方を教えたり、排便後、手を添えて拭いたりする。</li> <li>・ 個人差が大きいので、家庭にも協力を求め、一人ひとりの育ちの状態に合わせて指導する。</li> </ul> </div> </div>

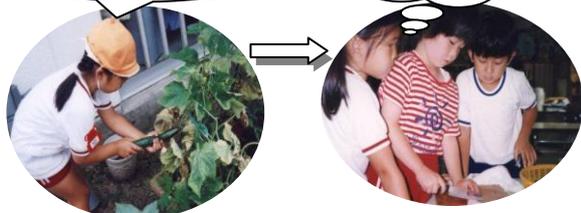
## 5歳(年長)

食事のマナーを身に付け、自分の健康に関心をもって、様々な食べ物を進んで食べる。

**活**・ 自分たちが園で育てた野菜などを使ってクッキングをする。

こんなに大きくなったよ。

おいしそうだなあ・・・



- 支**・ 野菜を自分たちで育てることで、苦手な野菜でも進んで食べようとする気持ちをもてるようにする。
- 調理して食べる活動では、衛生面や安全面に十分な配慮をしながら、楽しく取り組めるようにする。
  - 健康な体になるために、様々な食物を食べるように機会を捉えて話す。

## 6歳(小1)

自分にあった量を調節し、時間内に楽しんで食べようとする。  
準備や後片付けを進んで行う。

**活**・ 学級活動の時間に、栄養の大切さについての話を聞いたり、楽しく食べるためのマナーについて話し合ったりする。

- 支**・ 栄養教諭や学校栄養職員に、
- (1) 栄養面から見た食事の大切さ
  - (2) 健康に育って欲しいという調理員の願い
- この2点を中心に話していただく。
- 食べられる量には個人差があるため調節の必要があることや、時間内に食べ終わることもマナーの1つであることに気付かせる。

**活**・ 給食当番活動や自分の食器の片付けに進んで取り組む。

- 支**・ 主体的に取り組めるように、活動内容や手順を掲示するなど、分かりやすく示す。



## 5歳(年長)

トイレの使い方が上手になり、排泄後、上手に後始末をする。

**活**・ トイレを使った後の始末をする。



次の人が気持ちよく使えるといいなあ。



- 支**・ トイレを使った後、次の人が気持ちよく使うことができるように、水をきちんと流すこと、戸をきちんと閉めること、スリッパをそろえることなどを指導する。
- 絵本を使って読み聞かせたり、使い方の掲示をしたり、実際に現場で教えたりすることによって、習慣付けていく。

## 6歳(小1)

衛生的なトイレの使い方が分かり、学校の生活時間に合わせて排泄する習慣を身に付ける。

**活**・ 生活時間に合わせてトイレを使う。

◇ ちょっと行って来るね ◇

T児「始まる前に、トイレに行って来るね。」

M児「わたしも行こうっと！ Nちゃんは？」

活動が始まる前に友達同士で声を掛け合い、排泄を済ませることに気を付けていた。予定に合わせた排泄の習慣が身に付いてきたことを取り上げほめた。

- 支**・ 生活時間に合わせて排泄しようとする場面をとらえ、全体の場で賞賛する。
- 活動前に排泄を済ませておくと、その後の活動を安心して楽しくできることに気付かせる。
  - 自分からトイレに行ったことや友達同士で気を付け合ったことなどを賞賛する。

## 自分でできることは、自分でしようとする子ども（４）

	3歳（年少）	4歳（年中）
衣服の着脱ができ、清潔にする習慣を身に付ける。	<p>先生の手助けを受け、自分で衣服を着脱する。先生の手助けを受け、手洗い・足洗い・鼻かみなどをする。</p> <p><b>活</b>・ 服の着脱、ボタンかけを自分でする。 ・ 衣服をたたみ、決まった場所に片付ける。</p>  <p><b>支</b>・ 指先に力が十分に入らない子どもの場合、先生が穴にボタンを入れてやり、子どもが引っ張り出す活動から始める。「トンネル通ったね。」とほめながら繰り返し指導していく。 また、服を脱ぐときは袖をもって腕を抜くようにさせると次のたたむ活動がスムーズにいくことを手本として示し指導する。 ・ 家庭でも練習してもらおうようお願いする。 ・ 衣服を置く場所は、子どもの目の高さや間隔に配慮し、シールを貼る等の工夫をする。</p>	<p>自分で衣服の着脱をしたり、汚れたら自分で着替えたりする。 自分で鼻をかんだり、顔や手足を洗ったりする。</p> <p><b>活</b>・ 汚れたら自分で手足を洗い清潔にする。</p> <p><b>T</b>児は素足が好きで、屋外ではいつの間にか靴を脱いでいる。部屋に入ろうとすると、いつも足洗い場の前で立ち往生。どうして足を洗ったらよいのか分からないのである。そこで蛇口をあけて、ホースを持って足を洗う様子をやってみせた。「ぼく、やってみるね。」と始めたが、水道の蛇口が開けられない。繰り返しチャレンジしながら、T児はようやくできるようになり、「先生きれいになったよ。」と気持ちよさを味わうことができた。</p>  <p><b>支</b>・ 洗い場などは使いやすい環境にし、洗い方や拭き方を具体的にやってみせる。 ・ 清潔にすることの気持ちよさや自分でやったという達成感を味わわせながら自信をもたせる。</p>

	3歳（年少）	4歳（年中）
物の後始末や身の回りの整理整頓をする。	<p>決まった場所に決まった物を片付ける。</p> <p><b>活</b>・ 上靴、下靴をはきかえる。 ・ 登園後、自分の物を片付けたり、降園前に帰り支度をしたりする。</p>   <p>上手にできたね。ロッカーに入れようね。</p> <p><b>支</b>・ 靴箱やロッカーに名前とともにそれぞれの子どものマークになるシールなどを貼る。 ・ 入園当初は、一緒に片付けることにより、片付けの必要性を知らせ、やり方を理解させる。</p>	<p>自分の物や使った物の後片付けを進んでする。</p> <p><b>活</b>・ 砂遊びやままごと遊びの後、道具を片付ける。 ・ お絵かきや粘土遊びの後、自分の物を自分のロッカーに片付ける。</p> <p>先生、この積み木はどこに片付けるの。</p> <p>ここよ。同じ物をまとめると片付けやすいね。決まったところに片付けておくと、今度使うときにもよく分かるね。</p>  <p><b>支</b>・ 遊びの後に片付ける時間を設け、声をかけることにより、片付けを習慣化する。 ・ どこに片付けるかよく分かるように、片付ける場所や入れ物にマークを付け、分別しやすくする。 ・ 片付けをスムーズにするために、遊びに必要なおもちゃの量や空間を工夫し、遊びやすい環境を作る。</p>

## 5歳 (年長)

気候や活動に応じて衣服を調整する。  
うがい・手洗い・歯磨きなどの大切さが分かり、  
進んで清潔にする。

- 活**・ 歯磨きに関する絵本・紙芝居を見る。  
・ 歯の大切さについて話し合い、歯磨きの大切さを理解する。

- 支**・ 歯磨きの仕方だけでなく、虫歯にならないためには、食べ物や生活とのかかわりが大切なことを具体的に示していく。



ぶくぶく。



- 活**・ 目的に応じたうがいを  
する。

- 支**・ 遊びの後の手洗い、ガラガラうがい、おやつ後のぶくぶくうがいなどを習慣付ける。

## 6歳 (小1)

活動内容に応じて自分で衣服を調節する。  
うがい・手洗い・歯磨きなど、必要に応じて体や  
身の回りを清潔にする。

- 活**・ カラーテスターで磨き残しを知り、歯磨きの  
仕方を見直す。

歯が生え替わる時期  
なので、歯磨き指導が  
大切である。そこで、カラ  
ーテスターを使って歯垢  
を染め出し、磨き残しがあ  
ることを知らせることに  
した。「真っ赤になった。」  
「汚れがとれていなかった  
んだ。」と驚きの声をあ  
げ、自分の歯磨きの仕方  
を見直す契機となった。

歯と歯ぐきの間や奥  
の溝が磨けていなか  
ったな。もっと一本一  
本丁寧に磨かなくつ  
ちや。



- 支**・ 自分で気付いたり考えたりする場を設定する  
とともに、家庭と連携を図りながら習慣化する。

## 5歳 (年長)

用具や道具を種類別に片付けたり、ゴミ拾い  
をしたりする。

- 活**・ 遊びの後、自分が使ったものだけでなく、  
みんなが使った物も片付け、室内のゴミ拾い  
や掃除をする。

お片付けチャンピオンは誰？



みんなで片付  
けると早くで  
きるね。

- 支**・ 最後まで協力して片付けるように、その  
場に応じた言葉がけを工夫する。  
・ ゴミ箱に入れる物の絵を表示して、分別  
ができるような工夫をする。  
・ 家庭でも、片付けを子どもと一緒にする  
などして習慣付けてもらう。

## 6歳 (小1)

身の回りの物を次に使いやすいように整理整頓する。  
掃除の手順や道具の使い方が分かり、進んで掃除をする。

- 活**・ 机の中を使いやすいように整理する。  
・ ほうきやぞうきんの使い方が分かり進んで掃除しよう  
とする。

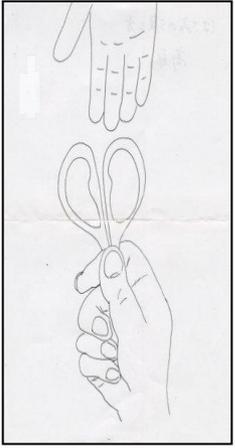
ぞうきんのしぼり方  
は6年生に教えても  
らったから、次は一人  
できそうだよ。

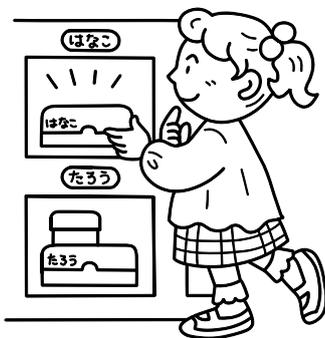
掃除道具は、決め  
られた場所に片付  
けるよ。



- 支**・ 入学当初は引き出しの整理の仕方やランドセルの片付  
け方、ロッカーの使い方等を中心に指導する。整理の仕  
方を掲示し、自分でできるように工夫する。  
・ 家庭でも身の回りの整理整頓をしたり、手伝いを通し  
て掃除の仕方を身に付けたりするよう、協力を求める。

自分でできることは、自分でしようとする子ども（5）

3歳（年少）	4歳（年中）
<p data-bbox="161 331 201 1144" style="writing-mode: vertical-rl;">危険なことが分かり、安全に気を付けて生活する。</p> <div data-bbox="248 338 847 421" style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>先生と一緒に行動する中で、危険な場所や遊びに気付く。</p> </div> <p data-bbox="248 434 831 472"><b>活</b>・ 固定遊具（ブランコ・すべり台など）で遊ぶ。</p> <div data-bbox="248 488 874 976" style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p><b>安全な遊び方（例）</b></p> <p>ブランコ・・・・・・・・こいでいる人の前では遊ばない。 立ちこぎはしない。（年齢による）。</p> <p>すべり台・・・・・・・・滑る方からはのぼらない。 途中で乗り越えて、降りない。</p> <p>ジャングルジム・・・物を持ってのぼらない。</p> <p>その他・・・・・・・・上着のボタンは必ずとめる。 靴をかけたまま遊ばない。 靴の後ろを踏んだまま遊ばない。 箸等の長い物、ブロック等の固い物、はさみ等の危険なものを持って走らない。</p>  </div> <p data-bbox="248 983 874 1167"><b>支</b>・ 危険な遊びについて、年少児にも分かりやすいように紙芝居や絵本、ペープサート等を通して理解させる。遊びの中で危険なことが起きた場合は、その場で、どうして危険なのかを知らせるために話をする。</p>	<div data-bbox="890 338 1485 421" style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>危険な物や場所が分かり、遊具や用具などの使い方に気を付けて遊ぶ。</p> </div> <p data-bbox="900 434 1453 517"><b>活</b>・ 大型積み木で遊ぶ。 ・ はさみなどの用具を使って、ものを作る。</p> <div data-bbox="938 539 1203 779" style="border: 1px solid black; padding: 5px;">  </div> <div data-bbox="890 786 1225 965" style="border: 1px solid black; border-radius: 50%; padding: 10px;"> <p>積み木を高く積み って楽しいね。でも その上に上がるのは 危ないな。</p> </div> <div data-bbox="1230 533 1465 981" style="border: 1px solid black; padding: 5px;">  </div> <p data-bbox="900 1010 1465 1160"><b>支</b>・ その場を捉えて、具体的にどのような遊び方をしたら危ないのかを指導する。 ・ 危険な遊びをしている友達がいたら「危ないよ。」と互いに声をかけ合うようにさせる。</p>



## 5歳(年長)

遊び方や遊具・用具の使い方によっては危険が生じることを知り、きまりを守って安全に遊ぶ。

- 活・ 外遊びを工夫する。
- ・ 用具や遊具で工夫して遊ぶ。

雨の日、遊戯室で巧技台の組立てが始まった。物めずらしいのか年少児も様子を見ていた。K児は「みんなで持とう。」とか「はしごは1段よ。」と組立ての方向や高さを指示し、安全に遊ぶことを意識していた。先生は、「手を離さないで。」「声をかけ合っておろそうね。」などと声をかけながら、子どもたちの様子を見守った。

- 支・ 順番に並ぶ等のきまりを守ることが、安全につながることを理解させる。
- ・ 危険な事があった場合、どうすればよかったのかをみんなで考える時間を設ける。

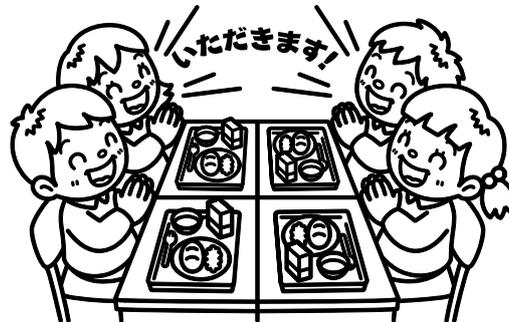
## 6歳(小1)

登下校や学校生活での危険な場所や行動が分かり、安全な行動を考える。

- 活・ 遊具の正しい使い方を知り安全に注意しながら遊ぶ。
- ・ 登下校の際、安全に気を付けて通学路を歩く。



- 支・ 生活科の「学校探検」、学級活動の「雨の日の過ごし方」の学習の中で、危ない場所やそこでの行動の仕方について考えさせる。
- ・ 入学前に子どもと一緒に通学路を歩き、危険な場所についてはその場で十分に指導していただくように、仮入学の機会等を利用して家庭に協力を求める。



人のかかわりを大切にし、約束やきまりを守る子ども（1）

	3歳（年少）	4歳（年中）
先生や友達とかかわり、楽しく生活する。	<p>先生や友達と過ごすことを喜んだり、一緒に行動しようとしたりする。</p> <p><b>活</b>・ ブロックやままごと遊びをする。</p>  <p>ロボットぼくも作りたいな。 見て見てこれ飛行機。 ぼくにもこれ作ってほしいな。 ぼくだって使いたいの、ブロックがない。 いいよ、ロボットでいい？ お願いがあるんですよ。一緒に言ってみようか。</p> <p><b>支</b>・ 遊びを通して園生活の楽しさを知らせ、安心感を与える中で、自己主張も温かく受け止める。</p>	<p>好きな遊びを楽しみながら相手の気持ちに気づき、一緒に楽しく遊ぼうとする。</p> <p><b>活</b>・ ごっこ遊びをしたり、遊びの相談をしたりする。</p> <p>4～5人集まると遊びの相談をしてから遊ぶ。 H児「鬼ごっこしようよ。」 A児「今日はままごとよ。」 H児「ままごとなら、またAちゃんがお母さんになるんやろ。」 A児「いいやん。」 K児「みんなお母さんになりたいのに、いつもAちゃんやもんね。今日は鬼ごっこにしようや。」 A児は友達のことを知り、どうしていいかわ分からなくなって泣き出してしまった。 Aちゃん、みんなもお母さんになりたいんだって。ままごとがしたくないわけじゃないみたいだよ。どうしたら、みんなで楽しくままごとができるかな。 A児「じゃあお母さんかわりばんこにしたら、一緒にままごとして遊べるかな。」 H児「いいよ。明日はMちゃんがお母さんやね。」</p> <p><b>支</b>・ 友達とのいざこざで、自分の気持ちを抑え相手の意見を聞き入れたときには子どもを十分認め、できないときには方向付けをする。</p>

	3歳（年少）	4歳（年中）
子どもを悪く言わないように促す。	<p>友達が嫌がったり泣いたりする様子から、友達の気持ちを知り、してはいけないことに気付く。</p> <p><b>活</b>・ 絵本・ペーパーサート・人形などで遊ぶ。</p> <p>子どもたちは、登園した順にままごとコーナーで遊び始める。人形で遊んでいたK児が突然大きな声を出した。1つしかない人形を巡って取り合いになっている。 K児「先生、Rちゃんが、わたしが遊んでいるミミちゃんを取るんよ。」 先生「KちゃんもRちゃんも、ウサギのミミちゃんが好きなんだね。ミミちゃんは引っ張られて、痛がつているよ。みんなが優しく抱っこしてあげるとミミちゃんも喜ぶと先生思うんだけどなあ。」 と、先生はK児とR児の気持ちを受け止め二人を優しく抱いた。幼児は自分の気持ちが落ち着くと、相手の思いや先生の言うことを受け入れるようになる。その後、「貸して!」「いいよ。」という物の貸し借りの方法を知らせていく。「貸して!」の言葉は、気の向くまま物を取ることが悪いことだと理解するために大切な言葉となっている。友達とかかわりを広げる言葉でもある。</p> <p><b>支</b>・ 子ども同士がかかわれるような環境構成をし、いざこざなども経験しながら、よいことと悪いことに気付くことができるようにする。</p>	<p>友達が泣いたり困ったりしていたら、自分の気持ちを抑えたり我慢したり、自分なりに手助けしようとする。</p> <p><b>活</b>・ 砂場に水を流してダムをつかって遊ぶ。 ・ ブロックや積み木を組み立てて遊ぶ。</p>  <p>Bちゃん、謝ろう。先生も手伝うから一緒に元通りにしよう。 Bちゃんが壊しちゃった。 壊したんじゃないのに。つなげるつもりだったのに。 B児は、他の子が手伝い始めると、素直に謝ることができた。</p> <p><b>支</b>・ 自分のしたことが悪いことだと気付く場や時間を設け、嫌な思いをしている友達の言葉に耳を傾けさせる。 ・ 経験が次回に生きるような言葉をかけ、悪いことをした方、された方両者の気持ちに沿った援助をする。</p>

## 5歳（年長）

仲間意識が強まり、友達と考えを出し合ったり、工夫したりして、遊びをより楽しくしようとする。

**活**・ 鬼ごっこやゲーム遊びをする。



もうやめた。鬼ばかりでおもしろくないもん。

鬼が2回続いたら交代することにしよう。

いい考えだね。そうしよう。

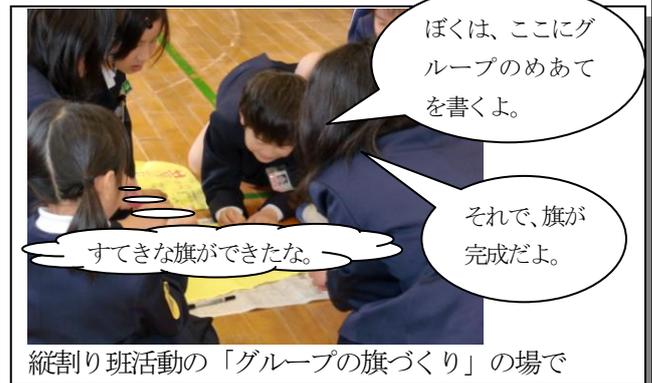
U児がO児の気持ちを理解し、アイデアを出したことによって、また楽しく鬼遊びができるようになった。

**支**・ 遊びや生活の中で友達とかかわっている姿を取り上げ、共感したり認めたりする。

## 6歳（小1）

友達と共に物事に取り組む中で、お互いに助け合いながら、自分のよさに気付き、自信をもって生活する。

**活**・ 多くの体験的な学習をする。  
・ 地域探検・縦割り班活動・交流活動（生活科等）などに取り組む。



ぼくは、ここにグループのめあてを書くよ。

すてきな旗ができたな。

それで、旗が完成だよ。

縦割り班活動の「グループの旗づくり」の場で

**支**・ いろいろな人（同学年・異学年・園児・高齢者等）と触れ合う機会を意図的・計画的に設定する。  
・ 自分のめあてや役割を常に意識させたり、振り返らせたりする。

## 5歳（年長）

友達とのけんかを経験しながら、よいことと悪いことを、自分なりに判断したり友達に相談したりして、解決しようとする。

**活**・ リレー遊びをする。

戸外で運動遊びが多くなり、子どもたちは運動会を楽しみに待つようになってきていた。

紅白2チームに分かれてリレーをすることになり、チーム分けをした。走ることに苦手なB児のことでA児とN児が言い合いになった。A児「Bちゃん白ね」N児「勝ちたいからそう言うんじゃろ」A児「違うったら、なんでそんなこと言うんよ」N児「Bちゃんがかわいそう」A児は涙ぐみながら否定していた。ここで、みんなで話し合ったところ「毎日違う人と走ったらいい」「じゃんけんで決めたらいい」「Bちゃんが決めたらいい」「走るのと同じくらいの速さの人は分かれたほうがいい」などB児のことがきっかけで解決しようとする姿が見られた。

**支**・ 友達に悪いことをしたわけや思いを受け止め、意欲を継続できるように励ました後、行動を振り返らせるようにする。  
・ 嫌な思いをしている友達の気持ちを分かるように伝える。

## 6歳（小1）

様々な場面で、よいことと悪いことの区別をし、悪いと思うことはせず、よいと思うことを進んで行う。

**活**・ 帰りの会で友達のよい行いを紹介し合う。



今日のきらりさんは、Aさんです。トイレのスリッパを揃えていたからです。

Bさんもきらりさんです。学校に来るとき、おばあさんの荷物を持ってあげました。

帰りの会のきらりさんコーナーで、よい行いを紹介すると、よいことと悪いことについて考えるようになり、意識が高まった。よい行いをした子どもとよい行いを見つけた子どもを認めるとよい行いをしようとする子どもが増えた。

**支**・ よい行いをほめたり、紹介したり、見つけたことを認め合うことにより、よいと思ったことを進んで、できるようにする。  
・ 道徳の時間にも行動を振り返りながら、しっかりと善悪の判断ができるようにする。

人のかかわりを大切に、約束やきまりを守る子ども(2)

約束やきまりの大切さに気付き、守る。

3歳(年少)

遊びや生活の中で、順番を待ったり、譲ったりする気持ちをもつ。

**活**・ 手洗いやトイレの順番を待つ。



- 支**・ 割り込みをすると、押し合いになったり嫌な思いをする友達がいたりすることに気付けるようにする。
- ・ 後から来た人は列の後ろにつくなど生活の中で必要なきまりを知らせ、守ろうとする気持ちを育てる。
  - ・ 少しずつ待つことができるようになるが忘れることもしばしばである。「後ろに並んでね。」という子ども同士の声をかけ合う姿を認める。

4歳(年中)

遊びや生活の中で、順番や交代などの約束やきまりを守ったり、友達に教えたりする。

**活**・ プール遊びでのきまりを知る。



- 支**・ 危険なことや命にかかわることは毅然として注意し、守らなければならないきまりに気付くようにする。
- ・ きまりを守って楽しかったこと、守らなくて困ったりおもしろくなかったりしたことに気付くようにし、きまりを意識させる。

3歳(年少)

先生に自分のして欲しいことや困ったことを言葉で伝える。

**活**・ 色水遊びをする。



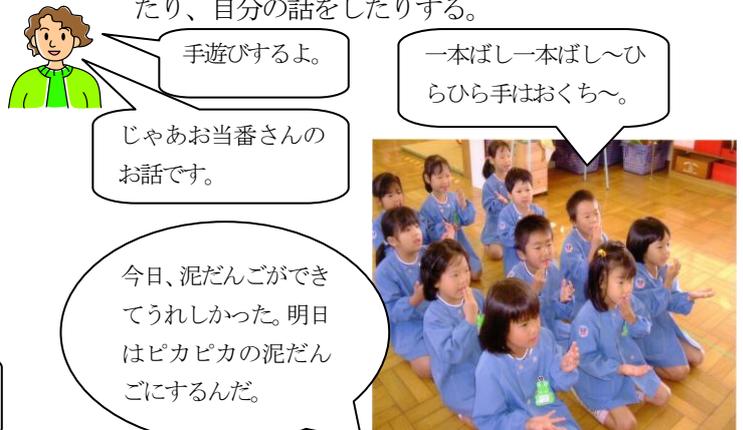
はい、どうぞ。〇〇くんもやる? 何色がいる?

- 支**・ 子どもの話を聞き、欲求に応じて物を準備したり、気持ちを汲み取ったりして、丁寧にかかわるようにする。

4歳(年中)

先生や友達の話聞き、友達に自分の思いを伝えたり、友達の思いに気付いたりする。

**活**・ 朝の会や帰りの会で、先生や友達の話の聞いたり、自分の話をしたりする。



今日、泥だんごができてうれしかった。明日はピカピカの泥だんごにするんだ。

- 支**・ 話をする前に、子どもたちの関心を引き付けるようなことや遊びの約束などを工夫する。
- ・ 話をする子どもの側で、一緒に聞いたり言葉を添えたりする。

人の話を注意して聞き、相手に分かるように話す。

## 5歳 (年長)

みんなで楽しく遊んだり生活したりするためには、約束やきまりを守ることが大切であると気づき、自分から守ろうとする。

**活**・ ボールけり遊びやドッジボールをする。



同じ人ばかり蹴っておもしろくないからやめる。

人数が足りなくなるよ。ちょっと待って。

じゃあみんなでどうするか考えよう。

ボールをもらったら、蹴っていない友達にパスしたらいい。じゃあいく

それならみんなができるからいいね。

**支**・ きまりの必要性を理解し納得した上で、守ろうとする気持ちをもてるようにする。

## 6歳 (小1)

約束やきまりを守る必要性に気づき、場や活動に応じて行動する。

**活**・ 生活科で学校探検をする。  
・ グループでの行動の仕方や廊下の歩き方等を考え、話し合う。



お兄さんたちは学習してるから、廊下は静かに歩こうね。メンバーが離れないよう気を付けよう。

校長室はちょっとドキドキするね。静かにね。でもしっかり見ようね。



**支**・ 子ども自身がきまりや約束の必要性に気づけるように、具体的な活動の場で考えさせるようにする。

## 5歳 (年長)

聞くとときと話すときの区別ができ、人の話を聞いたり、自分の思いを相手に分かるように話したりする。

**活**・ 行事(誕生会・歓迎会等)の企画・司会・進行をする。

みんなが弾ける曲がいいよ。

出し物はみんなが違う意見になったね。

みんなのことを考えて話し合えんね。



どれがいいか迷うね。

初めのうちは話し合いや出し物がうまくいかないことが多いが、経験を重ねるうちに上手になっていく。企画の話し合いの中で、自分の考えを伝えたり友達の話を聞いたりする態度が身に付く。

**支**・ みんなで一つのことに取り組みながら、異なる意見を聞いたり受け止めたりできるよう援助する。

## 6歳 (小1)

場に応じた話し方や聞き方が分かり、人の話を最後まで聞いたり、相手に伝わるように話したりする。

**活**・ 行事や集会の場で、先生や委員会のお兄さん・お姉さんたちの話を聞く。  
・ 次の年に入学してくる幼稚園や保育園の友達に小学校のことを教える。

先生の話をよく聞いておこう。

大きい声でゆっくり話そう。



選挙会では自分が読みたい本にしおりをはさんでください。



小学校には楽しいことがたくさんありますよ。

**支**・ 様々な場面で「話す聞く」活動を取り入れる。  
・ 「話す聞く」活動において時・場所・相手を意識付ける。

人のかかわりを大切にし、約束やきまりを守る子ども（3）

3歳（年少）

4歳（年中）

自分で取り出したり片付けたりすることを通して、自分の物と人の物を区別をする。

一緒に遊ぶことを通して、自分の物と人の物とみんなでする物の区別をする。

活・

自分で使った物の後始末をする。

活・

園庭の遊具で遊ぶ。

みんなで使う物を大切に



道具箱の中をきれいにしているね。お片付けが上手だね。

先生、クレヨンとハサミでいいよね。

僕のハサミがないよ。どうしよう。

ちゃんと、くまのマークに入れたかな？

R君もダメって。みんなでするものだから貸してよ！

貸してよ！

ダメ！ R君に貸してもらって！

だったらこれをつなげてよ！

ぼくが先に乗ったんだからダメ！

T君いいこと思いついたね。



支・

持ち物の置き場所にはマークを貼り、自他の区別が付き、もとの場所に戻せるように環境を整える。  
・自分の使った物を自分で片付けている姿を認め、物を大切にする気持ちがもてるようにする。

支・

遊具を使って十分に遊ぶ中で、友達とのかかわりやトラブルを経験し、一緒に遊具を使うことの楽しさや大切さを感じられるようにする。

3歳（年少）

4歳（年中）

自分でできることに取り組み、できたことに満足する。

自分でできることや先生や友達に励まされてできたことに満足し、自信をもつ。

最後までやり遂げる意欲をもつ。

活・

登降園時の持ち物の始末をする。  
・衣服の着脱、ボタンかけを自分でする。

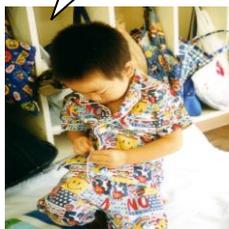
活・

縄跳び遊びをする。



手伝わなくてもいいよ。自分でするよ。

初めはなかなか思うようにたたむことができず、くちゃくちゃでもたたんだつもりでいる。「手をボタン」「もう一つボタン」とやり方を教えてもらい、少しずつ形になってくる。そのうち「一人でする！」と言い、たたむと得意そうに見せる。



前に回してびよん。こうやるとぶんよ。やってみて。

練習せんと上手にならんよ。

すごい、やったね。その調子。

見て、私もできたよ。



縄跳びやめてかけっこしよう。

支・

自分でしようとする行動を温かく見守り、励ましたり、手を添えたりしながら、自分でやり遂げたという満足感を味わわせる。

支・

意欲をもって一生懸命取り組んでいる姿を認めたり、励ましたりする。

5歳 (年長)

一緒に遊ぶことを通してみんなで使う物を譲ったり、分けたり、一緒に使ったりする。

- 活・ 固定遊具 (ブランコ、登り棒) で遊ぶ。
- ・ 園にあるおもちゃや絵本などで遊ぶ。



2つしかないから交代で使おうね。

わたしはずっと使っていたから、貸してあげるよ。



同じ数ずつ分けて使おうよ。

このお皿一緒に使おう。いるのを持っていってもいいよ。

- 支・ 分けたり譲ったりする姿を認める。
- ・ 公共物や公共の場を使う機会を設け、使い方や遊び方を教え、片付けまで見守るようにする。

6歳 (小1)

みんなで使う物や場の使い方が分かり、それらを大切に使う。

- 活・ 学校図書館を利用する。

6年生のお姉さんもいるよ。みんなで使う場所だから静かに読もう。



破れているページにテープがはってあるよ。みんなの本は大事にするよ。

返す日はいつかな。借りたい人が待っているから決まった日に返そう。



- 支・ 公共物や公共の場の使い方については、道徳の時間や具体的な活動を通して理解させ、実践できるようにする。

5歳 (年長)

難しいことでも、満足のいくまで取り組み、やり遂げる楽しさや満足感を知る。

- 活・ 運動会で鼓隊をする。

太鼓が重くて、肩がとても痛いけれど、がんばるよ。

太鼓の音がそろって気持ちがよかったよ。みんなでもっとやりたいな。



もう1回したいな。

- 支・ 年長児であることを自覚し、困難なことにも挑戦していくきっかけとなる活動を工夫する。

6歳 (小1)

めあてをもって最後まで物事に挑戦し、達成感を味わったり、次のめあてをもったりする。

- 活・ 持久走大会に向けて練習する。

3学期になり、持久走大会に向けて練習が始まった。体育委員会からがんばりカードが配られた。運動場を3周走ったら、1マス色を塗ることができる。一人ひとりがめあてを決めて練習に取り組む。

A児：最後まで歩かない。  
B児：1日1マス塗ることができるように毎日練習する。

がんばりカード  
**どれだけ走ったかな～**  
 ◆グラウンドを1周走ったら○を1つぬる。  
 ◆校舎を1周走ったら○を4つぬる。  
 なまえ ( )  
**スタート**  
 ○○○○○○○○○○○○○○○○○○○  
 自動車学校 1.35 km  
 ○○○○○○○○○○○○○○○○○○○

新記録を出した子、練習の時より順位が上がった子、惜しくも友達に抜かれてしまった子など、結果はそれぞれであるが、走り終わった後に「苦しかったけれど、がんばることができた。」などすがすがしい満足の声が聞かれる。

- 支・ めあてを意識させたり、取組を認めたりして、めあてに向かっていく過程を大切にする。
- ・ 結果のめあてではなく、過程のめあてをもたせるようにする。

## 感性豊かで思いやりのある子ども（1）

	3歳（年少）	4歳（年中）
身近な自然に親しみ、美しい草木や虫に触れ、興味や関心をもつ。	<p>戸外に出て、身近な草花や小動物に親しむ。</p> <p><b>活</b>・ 園庭の草花を見つけたり、摘んだり、集めたりする。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 園庭の身近な生き物を見たり、触れたり、探したりする。</li> </ul> <p>（身近な動植物（タンポポ・ベンペン草・エノコロ草・シロツメ草 ダンゴムシ・アリなど））</p> <p>わあ、ダンゴ虫が丸くなった！</p>  <p><b>支</b>・ 事前に季節感のある木や草花や虫のいる場所を確認し、触れ合える場所を見つけておく。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 子どもたちが身近な自然に興味関心をもってかわれるように視線を向けたり、触れたり、言葉にして子どもの気づきを喚起する。</li> </ul>	<p>散歩に出かけるなど、園内外の自然と積極的にかかわり、遊びを楽しんだり、季節の移り変わりを感じたりする。</p> <p><b>活</b>・ 園外へ散歩に出かけるなどして触れた季節の自然物を、遊びや生活に取り入れる。</p> <p>（草花を使ったままごと遊び、園庭の虫探し・落ち葉ひろい・木の実集めなど）</p> <p>もうすぐ、十五夜のお月さまだよ。</p>  <p>わあ、葉っぱが赤くなってる！</p> <p><b>支</b>・ 子どもたちが身近な自然に興味関心もてるように部屋の壁面や環境など季節感のある雰囲気をつくる。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 自然物に触れて遊べる環境を整えたり、自然事象や自然物に関する子どもたちの気づきを伝えたり、自然物を使った遊びを取り入れる。</li> </ul>

	3歳（年少）	4歳（年中）
生活の中で美しいものや心動かすものに触れ、イメージを豊かにする。	<p>歌を聴いたり、園内の掲示物を見たりして楽しさや美しさを感じ取る。</p> <p><b>活</b>・ 先生やお家の人の歌を聴いたり一緒に歌ったりする。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 園内の季節の壁面構成や、掲示物・飾りを楽しんで見たりかかわったりする。</li> </ul> <p>私も歌いたいな。 お母さん、上手だね。</p>  <p>きれいだね。</p> <p><b>支</b>・ 子どもたちが楽しさや美しさを感じるような場面や機会を設けたり、掲示物や飾りを工夫したりする。</p>	<p>音楽や造形作品の楽しさや美しさを感じ取ったり、劇などを見て、自分なりのイメージをもったりする。</p> <p><b>活</b>・ 歌や演奏を楽しんで、歌ったり聴いたりする。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 影絵劇やパネルシアターを楽しんで見る。</li> </ul> <p>うまくできるかな。どきどきするよ。</p> <p>聴いてもらってうれしいな。</p> <p>木琴の音ってきれいだな。ぼくもしてみたいな。</p> <p>上手だな。きれいだな。</p> <p><b>支</b>・ よさや美しさを認めた子どもの表情を見て、先生も共感する。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 先生は、音楽や劇などを子どもと共に楽しみ、表情や言葉で楽しさやすばらしさを伝える。</li> </ul>

5歳(年長)

身の回りの自然物を生活や遊びの中に取り入れ、工夫して遊び、その楽しさや美しさ、不思議さに気付く。

- 活・ 身近な自然物を自分たちの生活や遊びに取り入れ、自分達の生活を豊かにする(色水遊び・どんぐりや落ち葉などを使った製作活動)。
- ・ 身近な自然とかかわる中で、知りたいことや気付いた事など自分で調べる。



- 支・ 子どもたちが身近な自然物を生活や遊びに取り入れられるよう、様々な素材や用具・図鑑等を準備する。
- ・ 子どもの気持ちをとらえて、季節の変化や自然の不思議さや美しさに気付かせたり、共感したりする。

6歳(小1)

身近な自然物を見たり触れたりして、遊びや生活を工夫したり、楽しんだりして、自然の美しさや不思議さに関心をもつ。

- 活・ 自然にできた氷を見つけたり、触れたりする。



- 支・ 生活科や各教科の中で、子どもが五感を通して自然と触れ合う時間を保障する。

5歳(年長)

音楽活動や造形活動、劇等を通して自分なりのイメージを広げたり、友達と一緒に表現したりする。

- 活・ 音楽や劇の公演を聴いたり見たりする。
- ・ みんなでつくった作品などを見る。



- 支・ 子どもたちの心を揺さぶる音楽や劇などを体験させる。
- ・ 感じたことが表現でき、イメージが広げられるよう、子どものつぶやきをしっかりと認める。

6歳(小1)

学習や生活の中で、自分なりのイメージを豊かにしたり、自分や友達の作品の美しさやよさを感じたりする。

- 活・ 作品展覧会を開き、自分たちの作品を見せ合う。
- ・ 音楽や劇の公演を鑑賞したり、音楽会などで友達や上級生の演奏を聴いたりする。



- 支・ 友達だけでなく上級生の作品や音楽に触れさせることであこがれや期待をもたせる。
- ・ 図工や音楽での鑑賞活動を大切にし、子どもの感じた楽しさやよさに共感し価値付けをする。

## 感性豊かで思いやりのある子ども（2）

	3歳（年少）	4歳（年中）
友達と親切につき、思いやりのある行動をする。	<p style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 10px;">友達と触れ合いながら、一緒に遊ぶ楽しさを感じる。</p> <p><b>活</b>・ 場を共有して喜んで遊ぶ。            ・ 友達がしている遊びに興味をもち、まねをして遊ぶ。</p> <div style="border: 1px solid black; border-radius: 50%; padding: 10px; width: fit-content; margin: 10px auto;">             何してるのかな。おもしろそうだな。わたしもしようかな。           </div> <div style="display: flex; justify-content: space-around; margin-top: 10px;"> <div style="border: 1px solid black; border-radius: 50%; padding: 5px; width: 15%;">             わたし、お皿にならべるよ。           </div> <div style="border: 1px solid black; border-radius: 50%; padding: 5px; width: 15%;">             わたし、おなべに入れる。           </div> </div> <p><b>支</b>・ 先生や用具を仲立ちとして、友達と遊ぶ場を多く設定する。また、子ども同士がつながるようなかわりを心がける。            ・ 友達と遊んだことを保護者にも知らせ、家でも話を聞いてもらうようにする。</p>	<p style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 10px;">友達とのやり取りを重ねる中で、相手の喜びや悲しみに気付く。</p> <p><b>活</b>・ 気の合う友達と一緒に好きな遊びをする。            ・ 友達を誘ったり、仲間に入れてもらったりして遊ぶ。</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around; margin-top: 10px;"> <div style="border: 1px solid black; border-radius: 50%; padding: 5px; width: 15%;">             先生、〇ちゃんが意地悪したよ。           </div> <div style="border: 1px solid black; border-radius: 50%; padding: 5px; width: 15%;">             一緒に遊びたかったんだけどに・・・           </div> </div> <p><b>支</b>・ 友達と好きな遊びが存分にできる環境を整える。            ・ 友達と思いの違いからトラブルが生じた時はお互いの気持ちをくみ取ったり、代弁したりして、双方の思いを知らせていく。</p>
		

	3歳（年少）	4歳（年中）
絵本や物語などに親しみ、想像する楽しさを味わう。	<p style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 10px;">先生のお話を喜んで聞いたり、絵本の読み聞かせなどを楽しんだりする。</p> <p><b>活</b>・ 絵本の読み聞かせを楽しむ。            ・ 指人形と遊ぶ。（例：大きなかぶ）</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around; margin-top: 10px;"> <div style="border: 1px solid black; border-radius: 50%; padding: 5px; width: 15%;">             一緒に引っ張ってみよう。           </div> <div style="border: 1px solid black; border-radius: 50%; padding: 5px; width: 15%;">             うんとこしょ、どっこいしょ。           </div> </div> <div style="border: 1px solid black; border-radius: 50%; padding: 5px; width: 20%; margin: 10px auto;">             りんご、なし・・・いろいろな食べ物が出てきたね。           </div> <p><b>支</b>・ 分かりやすい内容の絵本を選ぶ。            ・ 生活の場や遊びの中で好きな絵本を自由に選べる環境を整えておく。</p>	<p style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 10px;">お話や絵本の読み聞かせを聞いたり、ごっこ遊びなどをしたりして、イメージを広げる。</p> <p><b>活</b>・ 読み聞かせや紙芝居を楽しむ。（例：はらぺこあおむし）            ・ パネルシアターやラジオのお話を楽しむ。</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around; margin-top: 10px;"> <div style="border: 1px solid black; border-radius: 50%; padding: 5px; width: 15%;">             サラミとソーセージはどうちがうの？           </div> <div style="border: 1px solid black; border-radius: 50%; padding: 5px; width: 15%;">             それでもおなかはぺっこぺこ。           </div> </div> <div style="border: 1px solid black; border-radius: 50%; padding: 5px; width: 20%; margin: 10px auto;">             わあーすごいきれいなちょうちょになった！           </div> <p><b>支</b>・ CDに合わせてパネルシアターを演じながら自然に言葉を覚えたり、イメージを広げたりできる環境（子どもが取り出して遊ぶことができる）を整える。</p>
		

## 5歳(年長)

困っている友達や年下の子どもに対して手助けをしたり、優しい言葉をかけたりする。

**活**・ お店屋さんになり小さいクラスを招待する。

ほくがスタンプをおしてあげるからね。



うん



**活**・ 年少児と手をつなぎ遠足に行く。

**支**・ 自分なりに手助けをしたり言葉をかけたりしている姿を温かく受け止め、かかわりが深まるようにしていく。

・ 年長児として、自覚と責任感をもって行動している成長を認めしっかりほめる。

## 6歳(小1)

友達や周りの人の気持ちを理解し、励ましたり、助け合ったりするなど、思いやりのある行動をする。

**活**・ 困っている友達に気付いたら、自分にできる手助けをする。

一緒に拾ってくれてありがとう。

クレヨンが落ちて、散らばったんだね。一緒に拾ってあげよう。



私も前に助けてもらった時うれしかったから今度は私が手助けするよ。

**支**・ 学校生活の様々な場面で、相手のことを考えた行動ができた児童やグループを全体の場で取り上げ、しっかり価値付ける。

## 5歳(年長)

絵本に親しみ、ストーリーのおもしろさや楽しさ、温かさ、悲しさなどを感じ取る。

**活**・ お話を聞いて劇遊びをする。  
(例：エルマーのぼうけん)

船に乗って出発!

島についたよー。

楽しそうだね。みんなに教えてあげたいね。発表会の劇にしたらどう。



**支**・ 一人ひとりの発想を大切に、イメージが具体的な活動になるよう小道具などを用意する。  
・ 目に触れやすい場所に絵本を置いたり、幼児の動線などを考えて絵本のコーナーをつくらする。

## 6歳(小1)

絵本や教科書の物語などに親しみ、想像を広げたり、おもしろさや優しさ、悲しさなどに心動かされたりする。

**活**・ 国語の教科書を読んで、おもしろいところや分かったことを発表する。  
・ 学校図書館で好きな本を借りて読む。

♪おむすび おいかけ  
おいさん♪

おむすびころりん  
すっとなん



**支**・ 読み聞かせや読書の時間を設けて、読書に親しむ機会を設ける。  
・ 読んだ本の中から好きなところを紹介したり、音読発表会や感想の交流会などを行ったりするなど様々な読書活動の場を設ける。

## 感性豊かで思いやりのある子ども（3）

	3歳（年少）	4歳（年中）
動植物をよこがかり、命の尊厳に気付き、いたわったり大切にしたりする。	<p style="text-align: center;">身近な生き物を見たり、触れたりして、驚いたり、喜んだり、親しみをもったりする。</p> <p><b>活</b>・ ダンゴムシを手の上に乗せて遊ぶ。                      ・ バッタ、カマキリ、コオロギなどを見つけて追いかけて遊ぶ。</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around; margin: 10px 0;"> <div style="border: 1px solid black; border-radius: 50%; padding: 5px; width: 150px;">                         カマキリがおったよ。捕まえて。                     </div> <div style="border: 1px solid black; border-radius: 50%; padding: 5px; width: 150px;">                         静かにして！逃げちゃうよ。                     </div> </div>  <p><b>支</b>・ 事前に生き物のいる場所を見つけておく。                      ・ 子どもが興味をもつきっかけをつくるために、先生が手の上に載せたり、生き物に触れたりして興味を示す。</p>	<p style="text-align: center;">身近な生き物に興味や親しみをもつとともに、優しく接する。</p> <p><b>活</b>・ いろいろな生き物を探したり、捕まえたり、興味をもって飼ったりする。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <p style="text-align: center;">◇子どもたちがよこがかりやすい生き物の例</p> <p>ダンゴムシ、アリ、テントウムシ、バッタ、コオロギ、アオムシ、カマキリ、オタマジャクシ、カメ、ザリガニ、クワガタ、カブトムシ、カブトムシの幼虫、金魚、メダカなど</p> </div> <p><b>支</b>・ S児は初めてバッタをつかまえたことが嬉しくて、先生に見せるために足をつまんで持ってきた。S児が先生の所まで持ってくると、バッタは片足が取れてうまく跳ぶことができなくなっていた。先生は、「S君は先生にバッタを見せてくれようとしたんだね。両手でこうして体を持ってあげると元気なまま逃がしてあげることができたね。」と、S児の気持ちを受け止めると同時に、生き物への接し方を話して聞かせた。</p> <p><b>支</b>・ 先生が生き物に優しくよこがかる姿を見せることにより生き物への関心を高め、生き物への愛情を育てる。</p>

	3歳（年少）	4歳（年中）
身近な人や地域の人などに、親しみや感謝の気持ちをもつ。	<p style="text-align: center;">身近な人に親しみをもつ。</p> <p><b>活</b>・ ダンスや運動などを、家の人や友達の家の人と一緒にする。</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around; margin: 10px 0;"> <div style="border: 1px solid black; border-radius: 50%; padding: 5px; width: 150px;">                         Eちゃんのお母さんは、どうぞ食べて                     </div> <div style="border: 1px solid black; border-radius: 50%; padding: 5px; width: 150px;">                         Gちゃんが作ったごちそう、おいしいよ。                     </div> </div>  <div style="border: 1px solid black; border-radius: 50%; padding: 5px; width: 150px; margin: 10px auto;">                 おいしいね、Iちゃんのお母さんにも持って行ってあげよう。             </div> <p><b>支</b>・ 参観日などを活用して、自分の家の人だけでなく、友達の家の人と触れ合う場を設ける。                      ・ 登降園時に友達の家の人にあいさつがしやすい雰囲気づくりをし、保護者にも協力を求める。</p>	<p style="text-align: center;">行事や活動を通して地域の人と触れ合い、親しみをもつ。</p> <p><b>活</b>・ 参観日や運動会などの行事で園を訪れる人に元気にあいさつをしたり、一緒に活動したりする。（夏祭り、焼き芋会、餅つき、生活発表会など）</p>  <div style="border: 1px solid black; border-radius: 50%; padding: 5px; width: 150px; margin: 10px auto;">                 杵にお餅がくっつくから、お水をつけてヨイショとつくんだよ。             </div> <div style="border: 1px solid black; border-radius: 50%; padding: 5px; width: 150px; margin: 10px auto;">                 おじさんの言ったとおりだ。             </div> <p><b>支</b>・ 自分たちの生活にかかわりの深い人の存在を伝え、親しんで触れ合う場を設ける。                      ・ 保護者に、園に協力をしてくださる方について知らせ、親子であいさつができるような雰囲気をつくっておく。</p>

5歳(年長)

6歳(小1)

園庭の花壇や鉢に植えた草花に水をやったり、飼育している生き物に触れたり、餌をやったりして愛情をもつ。

生き物を飼育したり、草花を育てたりする過程で、生と死を目のあたりにして、動植物に命があることに気づき、大切に育てようとする。

- 活**・ 園の小動物や草花の世話をする。  
(餌やり、小屋掃除、水やり、草取り)
- ・ 小動物を抱いたり、なでたりして遊ぶ。

- 活**・ 小動物を飼育したり、草花を栽培したりする。  
(小屋作り、小屋掃除、餌やり、観察  
水やり、草取り、支柱立て)

◇ 世話をする生き物や草花(この時期の子どもたちが育てやすい動植物)の例  
うさぎ、インコ、ハムスター、ザリガニ、小魚、アサガオ、チューリップ、パンジー、サルビアなど



ご飯をたくさん食べてね。

チュンチュンって、かわいいね。

遊びたくて水やりをしなかったから枯れたんだ。

ぼくの顔を見るとすぐ寄って来ていたから寂しいな。

あっ、死んでいる! 枯れている!

冷たくなってかわいそうだな。だっこすると温かくて気持ちよかったのに。

ごめんね。今度は大切にしよう。

- 支**・ 餌をもらったとき、生き物が喜ぶ様子を意識させ、餌や水は、動植物の命の源であることを伝える。
- ・ 大切に世話をした花が咲いたり、生き物がなついたりする喜びを味わわせる。

- 支**・ 生き物の死などを経験した場合、楽しかった思い出や世話の仕方を振り返り、自分と同じように命あるものだということに気付かせる。

5歳(年長)

6歳(小1)

お年寄りや地域の人々と触れ合い、人とかかわることの楽しさや感謝の気持ちをもつ。

自分たちの生活が周りの人々に支えられていることを知り、親しみや感謝の気持ちをもつ。

- 活**・ 散歩に出かけ、地域の人にあいさつをする。
- ・ 地域の人との交流を通して、いろいろなことを教えてもらう。
- ・ 福祉施設などを訪問する。

- 活**・ 身近な施設を訪問したり探検したりする。  
(郵便局、公民館、福祉施設など)
- ・ お世話になっていることに対してお礼の手紙を書く。
- ・ お年寄りに運動会の案内の手紙を書く。

優しく肩をたたいてあげよう。

気持ちがいいよ。ありがとう。



よく来てくれたね。

いろんな仕事があるんだな。

配達する人は大変だな。

こうやって手紙が届くんだね。



- 支**・ 地域の人と触れ合う機会に、知恵や工夫を意識させる。
- ・ 施設を訪問する場合、お年寄りや施設の人の健康状態や接し方について事前に話をしておく。

- 支**・ 事前に訪問先との打ち合わせを十分行い、見学態度なども指導しておく。
- ・ 訪問先でしっかりかかわりがもてるように、課題をもたせるなどの事前学習をしておく。

## 表現を楽しみ学びに関心をもつ子ども（1）

	3歳（年少）	4歳（年中）
身近な物の性質や特徴に気付く。	<p>土や砂を触ったり、水を流したりして、それぞれの感触を楽しむ。</p> <p><b>活</b>・ 砂場で砂遊びや泥んこ遊びを楽しむ。 ・ 色水遊びやシャボン玉遊びなどを楽しむ。</p> <p>みかんジュースください。</p>  <p><b>支</b>・ 思う存分遊べるように、いろいろな用具を準備しておく。 ・ 一緒に楽しみながら、子どもたちが触れて感じたことに共感する。</p>	<p>水と土、砂を混ぜるおもしろさを感じたり、水にいろいろな物を浮かべたり、風の動きに紙を飛ばしたりして、自然のおもしろさを楽しむ。</p> <p><b>活</b>・ 砂場でプリン屋さんごっこを楽しむ。 ・ 風に吹かれて落ちてくる葉っぱを捕まえたり追いかけたりして遊ぶ。 ・ プールでプラスチックや木の板を浮かべてお船ごっこをする。</p> <p>A児はままごとのお椀で型抜きをしようとしているが、なかなかできない。水をかけてみるが、水をかけすぎて形がうまくできない。何度も何度も挑戦してやっと成功し、砂場の周りの木枠のうえに砂のプリンを並べ、プリン屋さんが始まった。</p> <p>水を少しにしたら？ 手でしっかり固めたらどうか？ Aちゃん、やったね！おいしそうだね</p> <p><b>支</b>・ 試行錯誤する姿を大切にし、機会を捉えてアドバイスをし、自然や科学的なおもしろさを、子ども自身が五感や体験を通して気付いていけるようにする。</p>

	3歳（年少）	4歳（年中）
身近な物に関心を持ち、考えたり試したり工夫したりする。	<p>身の回りにある自然物や様々な素材や用具に触れ、興味をもつ。</p> <p><b>活</b>・ 草花摘みや、木の葉や木の実を拾う。</p> <p><b>支</b>・ 摘んだり集めたりした自然物を飾り、触れて遊べる環境を整えておく。</p>  <p><b>活</b>・ マーカーやクレヨンで好きなものをかいて遊ぶ。</p> <p>どの色にしようかな。</p> <p><b>支</b>・ 子どもの表現をありのままに受け止め、表現することが楽しいと思えるような言葉がけをする。</p>	<p>身の回りにある様々な素材に親しみをもってかかわり、遊びに取り入れて楽しむ。</p> <p><b>活</b>・ 草花や木の葉、木の実などの自然物を使って、思いおもいに遊び、つくったり飾ったりする。（ペンダント・冠・壁飾り・マラカスなど）</p>  <p><b>支</b>・ 一人ひとりの発想や工夫を認めたり、偶然にできた形のおもしろさや、美しさにも気付くような言葉がけを行ったりする。</p> <p><b>活</b>・ 空き箱や空き容器、紙やクレヨン、テープ、のりなどを使い、かいたり、つくったりする。 ・ 経験したことをかく。</p> <p><b>支</b>・ 用具の使い方を具体的に知らせるとともにつくったり、飾ったりして満足感を感じられるようにする。 ・ イメージがわくような言葉がけをする。</p>

## 5歳(年長)

水と土、砂の量の調節に気付き、いろいろな固さを試して楽しむ。

木の葉、木の実、雨だれなどの自然とかわることで、季節を感じ取る。

**活**・ いろいろな道具を使って川やダムをつくって遊ぶ。



**活**・ よもぎだんごをつくる

**支**・ 散歩で見つけたよもぎを料理して、自分たちの手でももぎ団子づくりを経験し、みんなで作る喜びや楽しさを味わえるようにする。

しずくちゃん見つけたよ。

**支**・ 一人ひとりが考えたり工夫したりしていると、ところを認め、友達と協力して作る楽しさが味わえるようにする。

春においがするね。



## 6歳(小1)

水、土、砂などの性質を取り入れ、工夫して遊んだり活動したりする。

身近な自然を観察したり、四季の変化に気付いて生活を工夫したり、楽しくしたりする。

**活**・ 雪の感触を確かめながら、雪玉をつくったり、そり遊びをしたりする。



両手でぎゅっと固めながら丸めるぞ。

高い所から滑ると、スピードが速くなるよ。

体を傾けたら、曲がっておもしろいよ。



**支**・ 工夫する姿、思考の広がり、知的な気付きなどを取り上げて価値付けたり、友達と共有できるようにしたりする。

## 5歳(年長)

身の回りにある素材を使っていろいろなものを工夫してつくったり、遊んだりして楽しむ。

**活**・ 夏祭りや運動会、発表会などの行事やごっこ遊びに必要なものをつくる。

**支**・ 友達と考えを出し合い、イメージを共有する楽しさを味わわせる。  
・ 子どもたちの発想を認め、アイデアを出し合い、試行錯誤しながらつくる過程を楽しませる。

**活**・ 布や毛糸を使って、織物遊びを楽しむ。

ゆっくり引っ張ってごらん。



**支**・ 手先を使い集中して取り組む姿を大切にする。  
・ 様子を見守りながら、一人ひとりに合わせて適切な援助を行い、やり遂げた喜びを子ども自身が実感できるようにする。

## 6歳(小1)

粘土や小枝、段ボール、クレヨン、絵の具等の材料、形、色から発想し、工夫して、かいたりつくったりする。

**活**・ 河原で拾った石の形や色からイメージしたものを表現する。

この形は、理科室のがいこつに似てるよ。



どのマーカーなら色がよくつくかな。

**支**・ 材料との出合わせ方を工夫し、五感を使って材料の特徴をつかみ、発想を広げられるようにする。

## 表現を楽しみ学びに関心をもつ子ども（2）

	3歳（年少）	4歳（年中）
感じたことや考えたことを自分なりに表現する。	<p>思ったことや感じたことを動作や言葉で伝えようとする。</p> <p><b>活</b>・ いろいろなものになりきって遊ぶ。 ・ 思ったことや感じたことを言葉や身体で伝える。</p>  <p><b>支</b>・ 子どものありのままの表現を受け止めたり代弁したりして、表現することの喜びや楽しさを味わえるようにする。 ・ 身体で表現する楽しさを味わえるような活動を取り入れる。</p>	<p>好きなものをつくったり、かいたり、自分のイメージを動きや言葉で表現したりするなど、様々な方法で表現しようとする。</p> <p><b>活</b>・ 楽しかったことやかきたいことを絵にかく。 ・ 先生に援助してもらいながら自分のつくりたいものをつくる。 押さえてあげるよ。</p>  <p><b>支</b>・ 個々の表現にあった材料や用具を準備し、自由にかいたり、つくったりできる環境を整える。 ・ 表現の個人差を考慮し、一人ひとりにあった表現を認めていくようにする。 ・ 素材や絵具などの用具の使い方など、必要に応じて援助していく。</p>

	3歳（年少）	4歳（年中）
音楽に親しみ、歌ったり演奏したり身体で表現したりする。	<p>季節の歌を歌ったり、聴いたり、手遊びをしたりして楽しむ。</p> <p><b>活</b>・ 季節の歌を歌う。 ・ 手作りマラカスで遊ぶ。</p>  <p><b>支</b>・ 楽しい雰囲気の中で歌を歌ったり、手遊びをしたりして、リズムを感じたり速さを感じたりすることができるようにする。</p>	<p>伴奏に合わせて歌ったり、簡単なリズムに合わせて身体を動かしたり、楽器を鳴らしたりして楽しむ。</p> <p><b>活</b>・ 歌詞や意味を考えて楽しく歌う。 ・ 音楽に合わせて踊ったり、動物になって歩いたり止まったりして遊ぶ。 ・ 音あて遊びをする。</p> <div style="display: flex; justify-content: space-between;"> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>♪の基本リズムを使って、いろいろな動物の模倣遊びをすると、「これは速いからリスさん。」「これはゆっくりじゃけーぞうさん。」と動物のイメージで音の速さを聴き分けて遊ぶことができる。</p> </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>いろいろな楽器で遊んだ後、子どもたちは音あて遊びを喜ぶ。ついたての後ろで楽器を鳴らし、「何でしょう。」と尋ねると、「チーンはトライアングル。」「ドーンは太鼓、大太鼓。」と特徴や名前を覚える。</p> </div> </div> <p><b>支</b>・ 音楽を使った楽しい遊びを通して、音の強弱・高低・速さを感じることができるようにする。 ・ いろいろな楽器に数多く触れさせ、楽器の音色や特徴を感じ取れるようにする。</p>

**歌**・・・チューリップ、手をたたきましよう、かたつむり、アイスクリーム、きのこ、虫の声、ぶんぶんぶん、おかあさん、こいのぼり、とんぼのめがね、どんぐり坂のどんぐり、パレード等  
**手遊び**・・・くいしんぼうのゴリラ、ひげじいさん、お弁当箱、やき芋グーチャーパー等

## 5歳(年長)

思ったことや感じたこと、イメージしたことなどを、絵や言葉や身体表現などで表す。

- 活**・ 自分なりにこだわりをもって作品をつくる(絵画や製作など)。
- ・ 自分なりの表現を友達や先生の前で発表する。



- 支**・ 個々の表現のよさや工夫したところなど具体的にほめ活動意欲を高める。
- ・ 友達の表現のよさを周囲の友達に知らせるなどし、様々な表現の仕方があることに気付かせていく。
  - ・ 自分たちの表現を発表できる場をつくり、友達の表現のよさを認め合えるようにする。

## 6歳(小1)

様々な表現活動を楽しみ、友達の表現のよさに気付いたり、取り入れようとしたりする。

- 活**・ 教科書で学習した「大きなかぶ」の話から、登場人物やかぶのイメージを出し合って共有したり、お面をつくって劇遊びを楽しんだりする。



- 支**・ お互いのイメージの広がりや、表現の工夫を認め合えるように言葉がけをする。

## 5歳(年長)

歌を歌ったり聴いたり、曲の調子に合わせてリズムを打ったり、楽器を演奏したりして楽しむ。

- 活**・ いろいろな歌を気持ちを込めたり強弱に気を付けたりして歌う。
- ・ 簡単な楽器を使って皆で一緒に演奏したり踊りを踊ったりする。



## 6歳(小1)

音楽を楽しんで聴いたり、表現したりしながら、様々な音楽活動を楽しむ。

- 活**・ 音楽の時間に歌ったり、簡単なメロディを演奏したり、リズム創作や身体表現をしたりする。



きくのはな、もみじ、やぎさんゆうびん、ドロップスの歌、うみ、はるよこい、さんぼ、まっかな秋、たきび、あわてんぼうのサンタクロース、大きな古時計、虫歯のこどもの誕生日、ゆき 等

- 支**・ 歌詞の意味を話したり歌い方を聴き合ったりして、気持ちを込めて歌えるようにする。
- ・ 皆で合わせる楽しさを味わわせることを通して、速さや強弱に気を付けることができるようにする。
- 支**・ 手拍子を打ったり身体表現をしたりして、リズムを感じ取って、歌ったり演奏したりできるようにする。
- ・ 楽しい音楽活動を通して基礎的な音楽表現の力を付ける工夫をする。

表現を楽しみ学びに関心をもつ子ども（3）

	3歳（年少）	4歳（年中）
様々な出来事の中で感動したことを伝え合う。	<p>信頼する身近な人たちと、会話をする喜びを知る。</p> <p><b>活</b>・ ままごとや砂場などでごちそうをつくったり食べたりするまねをする。</p> <p><b>支</b>・ つくったものを認めたり、食べたり、飲んだりするまねをしたりして楽しさが味わえるようにする。 ・ 「おいしいそう」等言葉にして返したり共感したりする。</p>	<p>先生や友達の言葉や話などをよく聞き、自分自身も思いを伝えることを喜ぶ。</p> <p><b>活</b>・ 友達の言動に興味や関心を持ち、話したり一緒に遊んだりする。 ・ 繰り返しのあることや響きの美しさの言葉などに興味をもつ。</p> <p><b>支</b>・ 一人ひとりの言葉や思いを受け止め、満足感が味わえるようにし、友達にも知らせるようにする。 ・ 言葉の音がつまみや美しさに気付くように共感したり認めたりする。</p>

	3歳（年少）	4歳（年中）
数量や図形に関心をもつ。	<p>生活や遊びの中で数量と出会ったり、様々な形に触れたりする。</p> <p><b>活</b>・ 散歩や園外保育でどんぐり等の自然物を集めて遊ぶ。 ・ ままごとや砂場、パズル等で遊ぶ。</p> <p><b>支</b>・ いろいろな遊びの場面で形をつくって遊ぶように用意する。 ・ 量や大きさの違いを遊びの中で子どもたちが発見できるような言葉かけをする。</p>	<p>先生や友達とのやり取りの中で、長さや大きさを比べたり、自然物の多様な形に触れたりしながら、数や形への関心をもつ。</p> <p><b>活</b>・ 木の実や廃材等が使いやすいように同じ物、違う物に分類する。 ・ 折り紙で形を折ったり、積み木で形を積上げたりして遊ぶ。 ・ おやつや給食を分けたり配ったりする。</p> <p><b>支</b>・ 生活や遊びの場面でさりげなく比べたり分けたりするように声かけをする。 ・ 遊びの中で、形を合わせたり離したりすることにより形が変化していくことを自然に気付かせるようにする。</p>

## 5歳(年長)

自分の思いや経験したことを相手に分かるように話したり、相手の思いを受け取ったりしながらやり取りを楽しむ。

- 活**・ みんなの前で話したり聞いたりする。  
 ・ 自分の話や思いが相手に伝わったり相手の話や思いが分かったりする楽しさや喜びを感じながら遊ぶ。

Aちゃん、最初に走って！アンカーは誰にする？

Eちゃんがいいよ。

リレー、どうしたらピンクチームが勝つ？

足の速い人が先に走ってどう？

- 支**・ みんなの前で話したいという雰囲気づくりを心がけたり、伝え合ったりする楽しさが味わえたりするように工夫する。  
 ・ 思いを相手に分かるように言葉で伝え、自分の考えがまとまったり深まったりする喜びが味わえるようにする。

## 6歳(小1)

経験したことや感じたことなどを順序に気を付けて話したり、質問したり答えたりして、伝え合う楽しさを味わう。

- 活**・ 朝の会で身近なことからテーマを見つけ発表する。

家族で買い物に行きました。



どんなお店に行っただのかな。

何を買ったのか、きいてみたいな。

- 支**・ フリートークの時間を設けてお互いの話を聞き合う機会を設定する。  
 ・ 支持的風土づくりに努める。

## 5歳(年長)

毎日の生活の中で図形や数だけでなく、前後、左右、遠近や時刻などにも関心をもつ。

- 活**・ 時計作りやお店屋さんごっこで数字を使って遊ぶ。  
 ・ 玉入れや縄跳びで数を数えたりクッキングで大きさをそろえたり多い少ないを比べたりする。

クッキングでフルーツみつ豆を作りながら、形や大きさへの意識付けができる。

白玉だんごは同じ大きさにしないと煮えにくいことを給食の先生に聞き、N児とD児は、「大きすぎる。」「これは小さい。」と同じ大きさを意識して作っていた。

フルーツの桃を切っては「三日月みたい。」とか、パイナップルを切って「これ何の形？」等と楽しい会話が聞こえたり、食べたお団子の数を比べたりして、おいしいおやつに大満足の子どもたちだった。

全部で何個できたか数えてみよう。

ボールみたいなきれいなお団子が出来たよ。

似ている形をよく見つけたね。

- 支**・ 子どもたちの数や量、形への関心に応じ、認めたりヒントを与えたりする。  
 ・ 遊びの中で数を数えたり、時間を意識したりして数字に対する興味付けを必要に応じてしていく。

## 6歳(小1)

数量についての感覚を豊かにし、簡単な計算、長さの比較、基本的な立体図形の特徴、物の位置関係などが分かる。

- 活**・ 算数や生活の中で、100までの数を数えたり使ったりする。  
 ・ 三角や円、四角などの図形の特徴を生かしてお店ごっこの準備をし、楽しむ。

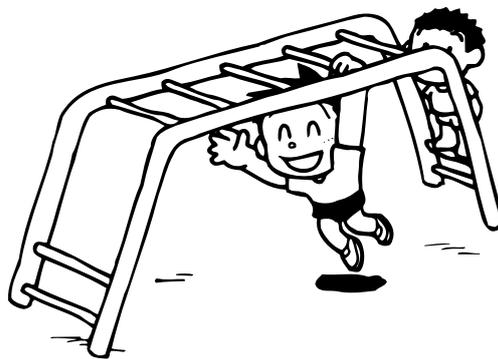
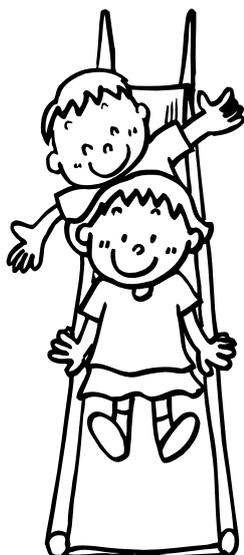
二つの商品がいつぱんに売れたら、いくらになるか紙に書いて計算するよ。



- 支**・ 算数的活動を通して、数量や図形についての感覚を豊かにする。

表現を楽しみ学びに関心をもつ子ども（4）

	3歳（年少）	4歳（年中）
文字や記号に関心をもつ。	<p>くつ箱や道具箱などに貼られた自分や友達のマーカーや名前に気づき、親しみをもつ。</p> <p><b>活</b>・自分のシールを覚える。</p> <p>いるかマークだ。</p>  <p>Yちゃんはあるかマークだよ。</p> <p><b>活</b>・おもちゃを片付ける。</p> <p>片付けるところが分かるように絵を描いておこう。</p>  <p>ブロックはここで、人形はこっちよ。</p> <p><b>支</b>・子どもの活動の手助けとなるように、身の回りにある記号や表示が分かるようにしておく。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・絵図を中心とした表示をし、興味をもたせる。</li> </ul>	<p>身の回りにある様々な表示や文字などを意識し、その意味に気付く。</p> <p>シール帳、貼れたかな？</p>  <p>この看板があるときは、遊戯室はお休みだよ。</p>  <p>これを見て貼ればいいんだ。</p> <p>うさぎさんのおうちだね。</p>  <p><b>活</b>・園内めぐりをして、クラスの表示などを知る。</p>   <p><b>支</b>・身近にある表示や文字を見て、その意味が理解できるように、意味を知らせながら一緒に遊ぶ。</p>



## 5歳(年長)

遊びを通して文字などで伝える楽しさを味わい、文字や記号の役割が分かる。

**活**・ お店屋さんごっこの準備をする。

看板があるよね。

「き」ってどう書くの？



**活**・ 手紙や案内状を作って遊ぶ。



そうだね  
そうしよう。

小さいクラスのみんな、きてくれるといいね。

**支**・ 遊びに必要な文字や数字を、身近な言葉と関連付けて知らせる。

## 6歳(小1)

ひらがな、カタカナ、漢字を学び、本を読んだり文章を書いたりする。

**活**・ 国語でひらがな、カタカナ、漢字を習得する。  
・ 好きな本を選び、楽しく読書する。

たくさんの言葉が  
できたね。



年という漢字  
は習ったね。



**支**・ 言葉と関連付けて、文字を丁寧に指導する。  
・ 学級文庫など読書環境を整え、子どもたちが自然に本に親しむことができるようにする。

